

## ドキドキのそろばん試験

3年生が算数の時間にそろばんを学 試験日、先生に見守られ、順番を 待つ子もどきどきしていました。



# なのみ通

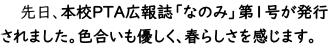
令和3年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 3月3日 第19号

こんにちは。

3月を迎え、気温がぐんと上がり嬉しくなりました。

しかし、新型コロナは町内でも依然、猛威をふるっており、 学校関係者等の感染も続いています。卒業式を中学校は11 日(金)、小学校は18日(金)に控え緊張が絶えません。最近 食器割れが増えるなど、子ども達にもストレスが蓄積してきて ないかなと気になります。見守り励ましていきたいと思います。

# 待ってたよ「なのみ」



内容は各学年の経過報告と、メインには新1年生と卒業 生が誌面を分け合う珍しいケースになりました。コロナ禍で 思うように活動できなかったけれど「どの学年もしっかりし た内容に」という思いで苦心して第1号を発行くださった

広報委員会(羽根絵梨委員長)の皆様に心から感謝申し上げます。



### 通学路 その三十

れるけれど、友との友情は、関わり合いふれ合ってつむいでい

考えさせられるものがたくさんありま

鋭くとがった言葉の刃物で」

した。いくつかご紹介します。 くかけがえのないものだよ」と感じさせます。 『大丈夫』 「やめようよ、と言えずにたまるあの子の涙 刃物で人を傷つけていませんか。 体の傷は治るけど、心の傷は治らない」 本校の応募作品には、 いじめの本質を伝えようとしています。

「いいことある。 「勇気を出して助けてみよう『どうしたの』」 「友達がいじめられてたら助ける\_ 決意の言葉もあります。 気になることに「向き合おう」と語っています。 誰かを救う魔法の言葉 誰かにやさしくしてごらん」

そして、

もしれない」でも「そうありたい」と願う子ども達の切なる心 の声でもあるのかなと思っています。 様々な標語に出会いました。それらは、 「本当はできないか

本校の三年生南里唯花さんの冒頭の作品が優秀賞に入賞しまし 福岡県PTA連合会主催「いじめ防止標語コンテスト」にて 素敵な作品ですね。私には「スマホの魅力につい引き込ま ともだちと」

**゙**むきあうのは スマホではなく

ジ

の声が聞こえる